

## 「浪江焼麺太国」ゴールドグランプリ受賞

9月7日、8日、青森県十和田市で2013北海道・東北B-1グランプリin十和田が開催され、浪江焼麺太国が念願のゴールドグランプリを獲得しました。

今大会には、町民のサポート麺バーをはじめ、多くのボランティアも協力しました。「なみえ焼そば」に一味唐辛子をかけて食べた人をすべて「浪江の一味」として巻き込んだほか、浪江小学校の児童から寄せられたメッセージなどを会場に展示し注目を集めました。

代表の八島貞之さんは「ゴールドグランプリをいただけたのは、多くの町民の方々のご協力、励ましがあってこそです。浪江町が一丸となって獲得したものだと思います。」と感謝していました。

浪江焼麺太国では、まだまだ古里で「まちおこし」ができない状況ですが、「まちおこし」を合言葉に、これからも活動を継続していきます。

11月9日、10日に「第8回ご当地グルメでまちおこしの祭典！B-1グランプリin豊川」が愛知県豊川市で開催されます。

応援よろしくお願いします。



## スポーツ笑顔の教室 夢先生：京谷 和幸氏

9月10日、浪江小学校（二本松市）において、5・6年生（8名）を対象に、京谷和幸氏（元車椅子バスケットボール日本代表選手）による「スポーツ笑顔の教室」が実施されました。

体育館では、車椅子でのチームワークゲームが行われ、児童たちは車椅子の操作に苦戦しながら、最初はなかなか上手くいかなくても、周りで助け合うことでスムーズにできるようになることや、チームワークの大切さを学びました。

また、教室では、京谷氏の人生・体験談から、夢を持つことの大切さ、夢に向かって行動を起こすことや失敗を恐れないこと、出会い一つ一つに感謝の気持ちを持ち、「ありがとう」をちゃんと伝えることの大切さを学びました。

児童からは「夢に向かって前を向いて頑張っていきます！」とお礼の言葉が述べられ、感謝の気持ちを歌と一緒に贈りました。



ありがとうございました

## 全国こども民俗芸能大会 ～請戸の田植踊～

8月17日、東京都新宿区日本青年館において、「第15回全国こども民俗芸能大会」が開催され、復興支援枠として「請戸の田植踊」を披露しました。

請戸芸能保存会では、子どもたちが舞う「田植踊」が地区民と故郷請戸を繋ぐ「かすがい」であると信じ、今後も伝統芸能を伝承していくたいと考えています。

なお、この大会は、東日本大震災郷土芸能復興プロジェクト事業の一環として開催されたものです。

## 町民の健康のため、 ご尽力いただきました

8月30日、役場二本松事務所長室において、仮設津島診療所医師、手塚徹先生の退任式が行われました。

手塚先生には、震災後2年5ヶ月に亘り、仮設津島診療所の医師として多くの町民の心身の支えとなっていました。

その功績と敬意を表し、町長より感謝状が贈られました。  
本当にありがとうございました。



## 認知症サポーター養成講座

8月23日、役場二本松事務所会議室において、「認知症サポーター養成講座」が開催されました。

グループホーム虹の家の星節子さんを講師に、「認知症を理解し地域で支えよう」について講演をいただきました。

養成講座には、44名の町職員および浪江町社会福祉協議会の生活支援相談員が参加し、認知症という病気や対応について理解を深めました。

講座終了後には、認知症サポーターの証となる“オレンジリング”が渡されました。



民俗芸能大会での様子

がんばれ！

なみえ

## まちの話題

皆さまの身の回りにある楽しい話題、  
変わった話題などの情報を募集しています。

問 復興推進課情報統計係  
TEL 0243(62)4731

## ジャズパフォーマンスで笑顔を！

8月28日、浪江小学校（二本松市）体育館において、ドイツの『Jazzchor Freiburg』（ジャズコア フライブルグ）によるジャズパフォーマンスの公演が行われました。

児童たちは、目の前でボイスパーカッションのリズムに合わせて歌っているのを見て、初めは驚いた表情をしていましたが、「上を向いて歩こう」を歌ったときには、手拍子で盛り上がり、いつの間にか会場は一体となっていました。

児童からは、お礼に“明日に向かって”的歌が贈られ、ジャズパフォーマンスの皆さんには歌に感激し、涙を浮かべていました。

なお、この公演は、東日本大震災復興応援ツアーの一部として実施されたもので、安達運動場仮設と二本松市市民交流センターでも公演が行われました。



(14)